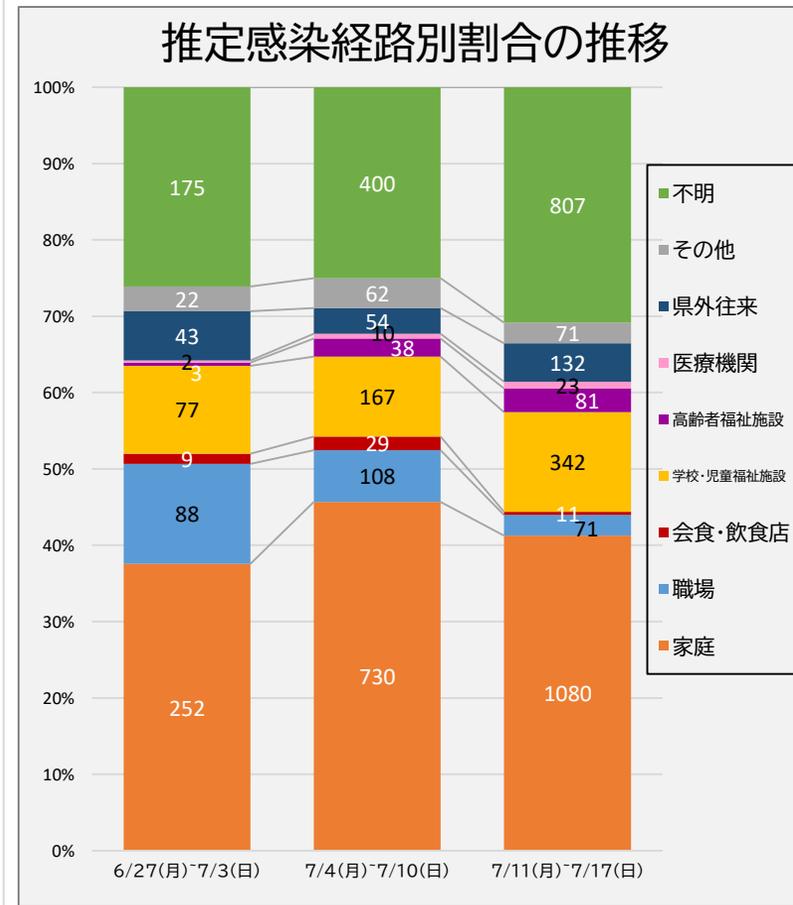
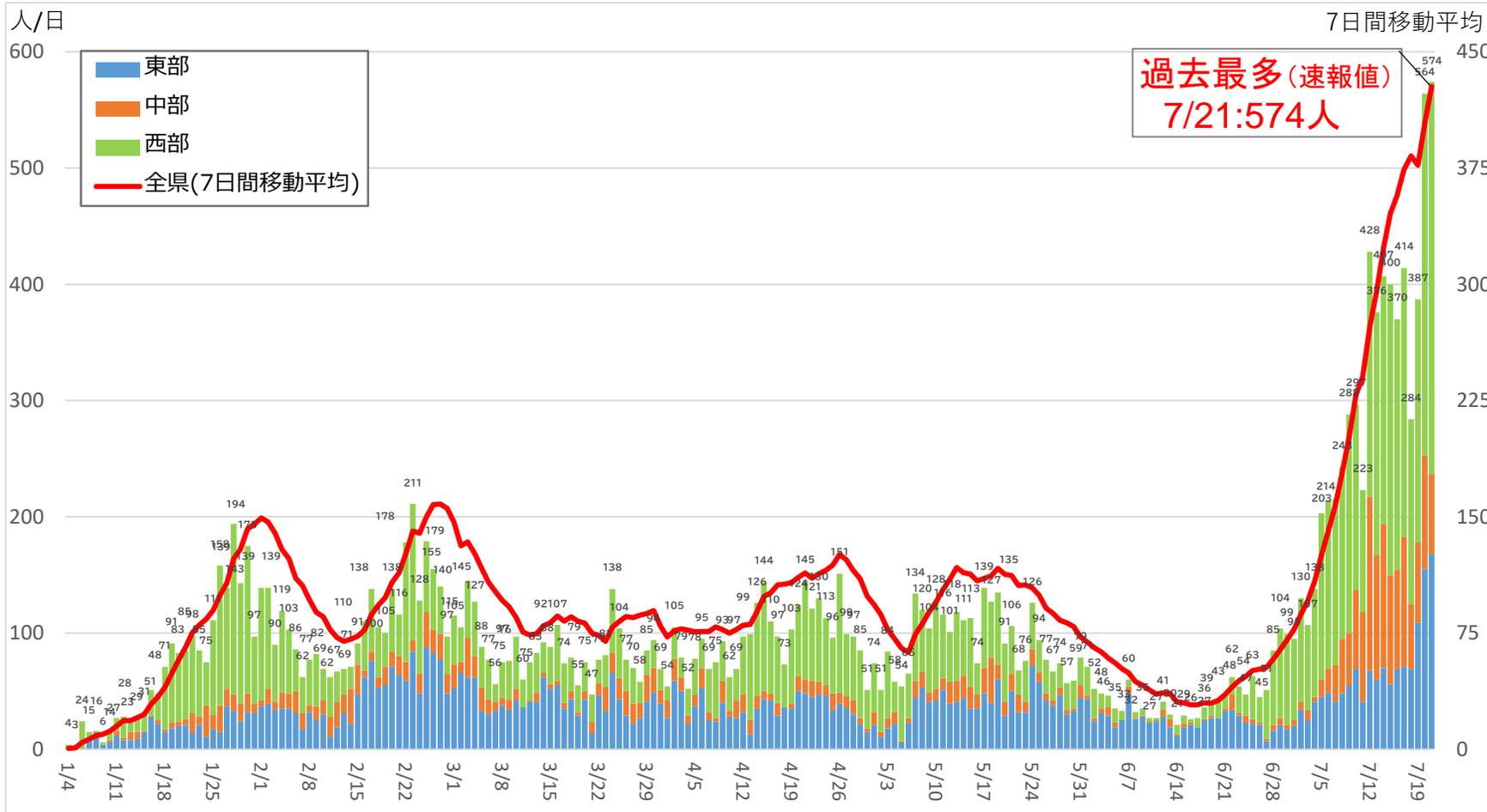


新規陽性者数の推移

【公表日ベース】



中部	鳥取県版新型コロナ警報「注意報」	7/20～発令
西部	鳥取県版新型コロナ警報「警報」	7/ 7～発令
東部	感染拡大警戒情報	7/20～発令
中部	感染拡大警戒情報	7/11～発令
西部	感染拡大警戒情報	7/ 4～発令

○直近(7/4-8)は、全県平均**61%**が「**BA.4又はBA.5系統疑い**」(変異株スクリーニング検査)

	6/20-26	6/27-7/3	7/4-8
東部	4%	19%	22%
中部	0%	37%	73%
西部	40%	73%	84%

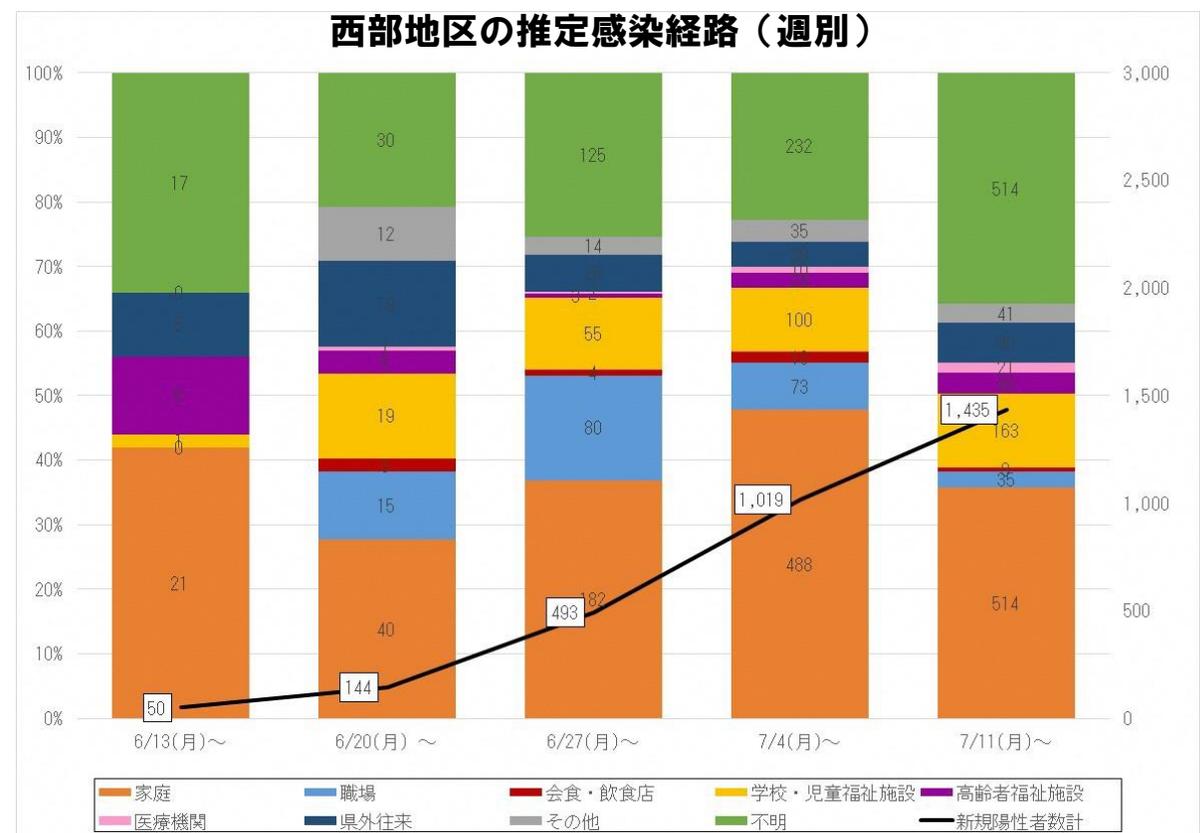
鳥取県西部地域でどのように感染が拡大しているか

■ 時間が経過するとともに、感染の舞台が拡大している・・・第6波以前も同様な傾向

■ 家庭内での感染が多く、家庭を介して様々な施設で感染が拡大

① 職場 → (家庭) → ② 学校・保育施設 → (家庭) → ③ 高齢者施設・医療機関
 ※職場感染の拡大から1週間以内で上昇 (今後さらに増加のおそれあり)

■ 県外往来(島根県を含む)も上昇傾向 ※鳥取県西部地域は、島根県東部地域と生活上の往来が多い地域



第7波における特徴的な感染事例

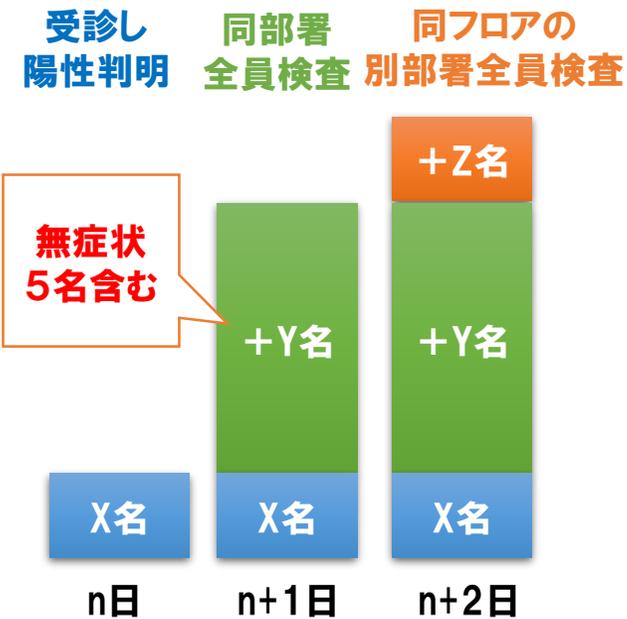
○一定の感染対策を行っている施設等でも集団感染が発生

- ・空間的に離れており、接触の程度が少ない同フロアの別部署への感染確認(同一ゲノム)【事例①】
- ・児童福祉施設の幅広検査で1日に20名超の感染が判明【事例②】
→感染力が強く、感染スピードが速く、一気に広がる(エアロゾル感染も疑われる)

○各種スポーツ活動等を介して家庭、学校等に感染拡大【事例③】

- ・発症前の出勤・通学などによる感染拡大
- ・発症後も勤務継続により感染拡大していた施設もあり
→疫学調査と検査の丁寧・着実な実施により連鎖を断ち切っていくことが重要

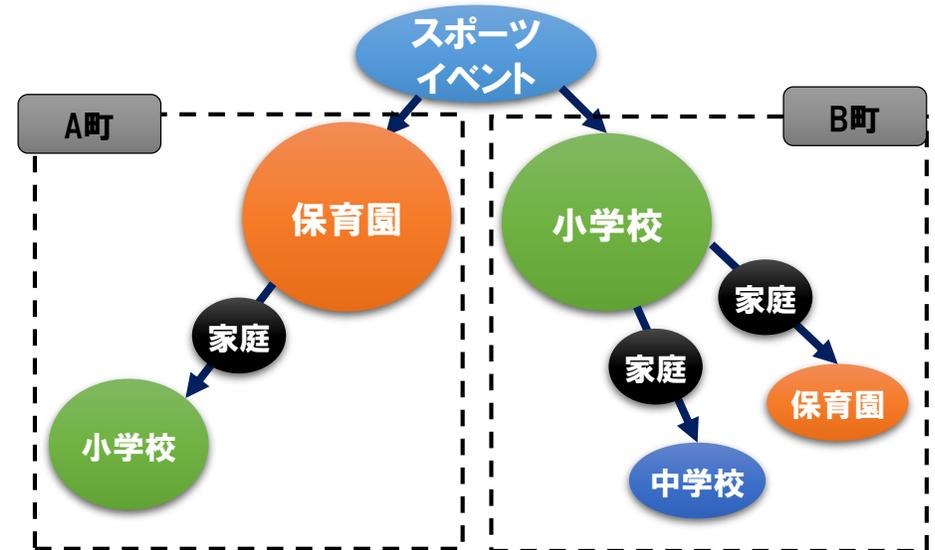
【事例①】事業所



【事例②】児童福祉施設



【事例③】スポーツイベントから地域内での感染連鎖



第7波を乗り越えるための対策

県医師会・県看護協会・県薬剤師会等と連携した対策

- ◆ 即応病床への切替えによる**病床の追加確保**、**圏域を超えた入院調整**(7/20から順次要請、2病院承諾済)
- ◆ **地域医療の役割分担**によるコロナ病床の効率的な運用
- ◆ **宿泊療養施設の追加確保**に伴う療養体制の拡充
- ◆ **在宅療養者への支援体制強化**(医師、看護師の追加確保、物資の追加確保)
- ◆ **認知症高齢者への在宅支援体制の強化**(独居で陽性の認知症高齢者等への在宅サービス提供構築、7/4～)
- ◆ 保健所の調整を介さない形での**在宅療養者や濃厚接触者の診療・検査体制の確立**(7/13～)
- ◆ **受診相談センターの体制強化**など相談体制の拡充



県庁の対策

○ 県庁BA.5第7波対策緊急体制の更なる強化

陽性者の急増に伴って保健所の業務に遅れが生じないように、**県庁全体での応援体制を強化し、保健所機能を維持**

- ◆ 疫学調査、My HER-SYS(陽性者等の健康管理システム)による健康観察等の業務に**本庁等からの応援職員を増員**することに加え、**外部委託化を更に推進**
- ◆ **県庁全体で不急業務の先送り等を徹底し、コロナ関連業務を最優先**

< 予算関連業務の取組例 >

- ・ 9月補正予算編成作業の簡素化(対面による財政課間取の取りやめや積算作業の簡略化)
- ・ サマーレビュー(事務事業見直し)の中断
- ・ 公共事業事前審査の簡素化(現地審査ではなく、写真等を活用して簡素化)

今こそワクチン接種を(医療・介護従事者4回目接種開始)

4回目接種の対象者が医療・介護従事者等に拡大(県内約3.2万人)
⇒医療機関・市町村等関係機関と連携して早期に対応



○医療従事者等⇒お勤めの医療機関や既存の接種会場で接種

(7/22以降、国通知が出次第、速やかに接種いただくよう、医師会・医療機関等へ周知済)

○介護従事者等⇒入所系施設:60歳以上の接種と併せて従事者も実施(2町3施設で7/25~実施決定)

通所系施設:既存の接種会場、ワクチンバスの派遣等を活用

(7/23倉吉市の障がい者通所施設へのワクチンバスの派遣等(順次派遣施設を拡充))

7/23~ イオンモール日吉津で夏休み期間中小児接種を実施



以下の日程で毎週土曜日に実施

7/23 7/30 8/6 8/13 8/20 8/27

- ・5歳から11歳のお子さまが対象
- ・保護者の方(18歳以上)の3回目接種も同時に可能
- ・空きがあれば当日でも予約可

◎60歳以上の高齢者等の4回目や、中高生・大学生・働き盛り世代の3回目についても、早めの接種を!

【向こう2週間での日程】

○市町村の集団接種会場 4市8町村でも集団接種を実施 ~詳しくはお住まいの市町村へ~

○県営の接種会場
(18歳以上) 7/23(土)・24(日) イオンモール日吉津、7/30(土) 新日本海新聞社・イオンモール日吉津、
7/31(日) イオンモール日吉津、7/23(土) 上灘・小鴨コミュニティセンター

東部地域交通まちづくり活性化会議

会議の概要

▼目的 JRはじめ交通事業者と沿線首長が東部の公共交通の課題を共有し、交通とまちづくりを一体で議論する。

▼構成員

＜交通事業者＞

佐伯 J R 西日本米子支社長、城平智頭急行社長、上川若桜鉄道社長、
中島日ノ丸自動車社長、澤志郎日本交通社長、澤耕司鳥取県ハイヤータクシー協会会長

＜圏域自治体＞

深澤鳥取市長、長戸岩美町長、金兒智頭町長、吉田八頭町長、上川若桜町長
平井鳥取県知事

▼今後の流れ

来週、東部地域交通まちづくり活性化会議を設立
→「鳥取県東部地域公共交通活性化協議会」で論点整理



観光利用促進

観光列車「あめつち」因美線初運行

7/31 (日) 鳥取駅にて**出発式開催**
7/31 (日)、8/6 (土)、8/13 (土) 運行
…**停車駅で地元市町によるおもてなしを実施**



急行「砂丘」因美線リバイバル運転

8/11 (木・祝) 運行
智頭駅到着に合わせ、**セレモニー開催**



鳥取県個人情報保護条例改正検討

デジタル化などの環境の変化に対応した個人情報保護を図るとともに、個人情報保護法の改正に伴い必要となる所要の改正を行う。

【条例改正案の基本的な考え方】

- ① 現行条例の価値観である「個人の尊厳」と「基本的人権の尊重」の見地から、個人情報を慎重に取り扱うことを基本理念として明確に規定する。
- ② 個人の権利利益を侵害しないよう、個人情報の取扱いに最大限配慮した上で、データの利活用も図るなど、デジタル社会における個人情報保護のあり方を示す。
- ③ 法改正に伴う個人情報保護の手続を整備する。
- ④ 現行条例で保護している死後における個人情報の取扱いについては、改正法で適用対象外となるため、本県独自に保護するための措置を規定する。
- ⑤ 個人情報保護審査会事務について、事務受託も含め、市町村との共同化を検討する。

○ 7月28日（木）からパブリックコメントを実施し、その後に条例改正の手続きを進める。

東郷湖羽合臨海公園「パークビジョン」検討会

社会情勢や周辺環境の変化等を踏まえ、東郷湖羽合臨海公園が目指す今後の方向性を検討
(第1回：8月1日(月)開催)

<パークビジョン検討会>

○今後10年程度を見据えた公園のビジョンを検討

公園の持続可能な維持・発展の方向性について検討を行い、地域の方に親しまれ、魅力ある公園を目指す。

【検討のポイント(例)】

- 燕趙園の無料化を含めた施設のあり方
- ハワイ夢広場、スケートパーク等の有効活用・機能転換
- 宇野エリアキャンプ場の有効活用・民間活力の導入
- 木陰のある空間への転換(植栽、ベンチ・東屋等の適正配置)
- 各エリア・施設に即した管理(PFI導入、地元への施設の譲渡を含む)

～検討会メンバー～

行政、観光事業者、経済団体、高齢者・子ども関係団体、地元関係者ほか

～スケジュール(予定)～

<令和4年度中>

- ・公園の現状等を分析
- ・パークビジョン(素案)

<令和5年度中>

- ・パークビジョン策定→R6.4月次期指定管理

<公園をとりまく環境変化>

・東郷湖羽合臨海公園の現状

公園施設の老朽化の進行、利用者の伸び悩み

・社会情勢、周辺環境の変化

少子高齢化と人口減少、コロナ禍における生活スタイル、管理運営手法の多様化・民との連携、新たな施設の建設、交通アクセス など



過去最多の移住者数

令和3年度年間移住者数 **2,368人**（下半期1,449人）

ともに
過去最多

- 近畿、中国、関東圏からの移住者が増加 コロナ前に比べ関東圏からの移住者数17%増
- 「Iターン」移住者が過半数(H29以来) 40代以下でIターンの増加が顕著
- 40代以下の主な移住理由: 就職、結婚・子育て
 - ・特に10代以下の移住者数が増加 R3:417名 ← R元:328名 ※27%増

7/26 『鳥取県×日本財団共同プロジェクト顧問団会議』共同プロジェクトの評価と地方創生へつなぐ今後の取組

「地域版SDGs調査2022」SDGs評価 第1位

『SDGsの取組評価が高い都道府県ランキング(総合評価)』で
3年連続 第1位 (ブランド総合研究所)

◆県民からの評価が特に高いSDGsゴール(個別評価)

◎「すべての人に健康と福祉を(ゴール3)」 ◎「住み続けられるまちづくりを(ゴール11)」

これまで進めてきた健康づくり、子育て支援等の取組が、
「持続可能な地域づくり」として高い総合評価につながる結果に

7/22 『とっとりSDGs企業認証制度』認証式を開催

➢ 第1回認証となる27社を決定。県内中小企業等のSDGsの取組を後押し。

8/1 『ねんりんピックはばたけ鳥取2024(R6.10/19~22開催)』の実行委員会設立総会を開催

全国知事会議 in 奈良

～危機突破！挑戦が未来を創る～

開催日時・場所

- 日時: 令和4年7月27日から29日まで
- 於: 奈良県コンベンションセンター等

※感染対策には万全の措置を講じて開催します。

参加自粛基準の設定、健康観察の徹底、参加人数は最小限等

主な開催内容

- 新型コロナ・物価高等の危機を乗り越えるための方策やデジタル田園都市国家構想、脱炭素社会の実現に向けた**国への提言内容等を議論**
- 特定の政策課題について、有識者や知事らが議論する**セッションを開催** 初開催
今回は、地方自治・地方政治／脱炭素／LX(ローカルトランスフォーメーション)とデジタル田園都市国家構想 の3テーマ ▶▶▶ **YouTubeでライブ配信予定!!**
- **日本経済団体連合会との意見交換会**の開催 初開催
- 大阪・関西万博2025を全国知事会全体でサポート



©奈良県マスコットキャラクター せんとくん

➤ 「共にたたかう知事会」として新しい形の全国知事会議へ